

和合

No.165

2025. 7. 1

題字：三浦修次

主な掲載記事

- 和合の里がんばり屋さん！…2
- はやぐおっきぐなれの～！…3
- 人生100年時代……………3
- 四小通信……………4
- わたしが描く和合の里…………5
- わたしから見た和合の里…………5
- よつばっこ通信……………6
- くらしの安全情報……………7
- 和合の里掲示板……………8

和合の里 がんばり屋さん!

由右エ門ほうき伝承の会
代表 齋藤宗一さん(南野)

由右エ門ほうきは、古関を中心に冬の農閑期の仕事として受け継がれてきました。時代の流れとともに由右エ門ほうき作りを受け継ぐ人が減っていく中、作り方を後世に伝承するため、平成26年(2014年)に川井由右エ門さんが「由右エ門ほうき伝承の会」を立ち上げました。今回は由右エ門ほうき伝承の会代表の齋藤宗一さんにお話をうかがいます。



■普段どのような活動に取り組んでいるか教えてください。

会員たちで集まってほうき作りの練習会を行うなどしています。これまでに作ったほうきの一部は「なんでもバザールあっでば」や昨年開催した即売会で販売しています。



例年、会員たちで集まってほうきの材料となるホウキキビを畑で育成しています。5月にみんなで作付けをしたあとは、会員たちが各自管理を行っています。8月末頃には収穫する予定です。

■活動に取り組んでいてうれしかったこと、やりがいを感じたことを教えてください。

昨年開催した由右エ門ほうき実演会・即売会では多くの方に立ち寄っていただきました。自分たちの作ったほうきが売れたことから、会員からも喜びの声が上がりました。今年2月には、余目第四小学校6年生と会員たちが一緒にほうき作りを体験し、由右エ門ほうきの由来について学ぶことができました。



■活動していて苦労したこと、大変だったことを教えてください。

近年は温暖化の影響でホウキキビの生育にも影響を及ぼしています。昨年のホウキキビは収穫量が少なく、集まったホウキキビも背丈の短いものが多かったです。そのため、今年作られたほうきは全体的に小さいものが多くなりました。

現在、会員8名で活動していますが、新たな会員をどのように集めるかが課題となっています。和合の里のみなさんに由右エ門ほうき伝承の会の活動をもっと知ってもらいたいです。



お話しいただきありがとうございました。

パパとママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～！



㊦可穂ちゃん ㊦真穂ちゃん



㊦真穂ちゃん ㊦可穂ちゃん

❀1 名前の由来は？

稲刈り真っ只中に産まれたふたり。稲穂の穂の字をつけました。

❀2 今一番の興味やハマってることは？

絵本の中やおもちゃの中から、同じキャラクター、同じ動物、同じものを見つけると、「あった！」と言って、走って一生懸命見せに来てくれます！歌も踊りも大好き！ジャンプして、手をたたいて、踊ってます！

❀3 最近記憶に残ったエピソードは？

けんかばかりなのに、ふたつあるものは必ず分け合います。どちらかが風邪で休んで、ひとりしか家にいないのに、お菓子は2個もらい、もうひとりを探しに行きます！

❀4 パパママの失敗談（子育てあるある）

毎日が争奪戦！ひとつしかないおもちゃは、他のおもちゃがたくさんあるのに、相手が持ってるものを欲しがります！

❀5 パパママからのメッセージ

ふたりで助け合いながら、いっぱい食べて、いっぱい笑って、いっぱい泣いて、自分らしくすすく大きくってね！



㊦真穂ちゃん ㊦可穂ちゃん

く どう ま ほ
工藤 真穂ちゃん
か ほ
可穂ちゃん

（新田目）

令和5年9月26日生まれ

パパ：大輔^{だいすけ} ママ：慎紗^{みさ}

人生100年時代

もしかして?と思ったら～認知症の気づきのサイン～

保健福祉課
高齢者支援係
主任 阿部 佳奈子



4月より高齢者支援係に配属となりました阿部です。よろしくお願いします。

「最近ちょっと物忘れが増えたかも…」

それが年齢相応のものか、認知症の始まりなのか、判断は簡単ではありません。けれども、早く気づき、適切な対応をすることが、その後の生活を大きく左右します。

—こんな変化はありませんか？—

- 今までできていた料理や掃除の手順がわからなくなる
- 約束や予定をよく忘れるようになった
- 財布やカギなど、物の置き場所がわからなくなる
- 道に迷うようになった
- 同じ話を何度も繰り返す
- テレビを見ても内容が理解できなくなった

こういった変化は、本人よりも周囲のご家族やご近所の方が先に気づくことが多いものです。「何かおかしいな」と思ったときは、悩まずに、まずはかかりつけ医に相談してみてください。

庄内町では地域包括支援センターで相談を受け付けています。必要に応じて、専門機関や介護サービスにつなぐお手伝いもいたします。

大切なのは、「早めに相談し、必要なサポートを受けること」です。気軽にご相談ください。

■問合せ：保健福祉課高齢者支援係 TEL 0234-43-0490



えがお 輝く 四小っ子

四小通信



【校訓】三愛精神「人を愛し、ものを愛し、学問（真理）を愛する」

今年も四小っ子 がんばっています！

昨年より1名多い、全校児童119名でスタートした四小っ子。1年生から6年生まで、様々なところでがんばっています。その中からいくつか紹介します。

4/9 入学式

ご入学おめでとうございます。入学式からとても立派な1年生です。特に、お話の聞き方が上手です。



5/27 児童会総会



5/23 町小体連陸上競技会



自己ベスト更新目指して全力を尽くしました。



5つの小学校混合チームです。玉入れて交流しました。

余目第四小学校 6 年生 わたしが描く和合の里



ぼくは、和合の里が、今よりももっとみんな仲良く元気に暮らせる場所になってほしいと思っています。

そのために、ぼくは、下級生に優しくしたいです。また、自分から地域みなさんにあいさつをして、明るい町にしていきたいと思います。



ぼくが描く和合の里は、地域の人などに自分からあいさつができる場所です。理由は、自分からあいさつすることで、地域の人との関係が深まるからです。そのために、自分からだれにでも進んであいさつをしていきたいと思っています。



私は、元気なあいさつがあふれる和合の里にしたいです。みんなが元気なあいさつをすることで、毎日楽しくすごせると思ったからです。地域の人や学校の友達にあいさつすることを心がけて、より良い和合の里にしていきたいと思っています。

わたしから見た 和合の里



庄内町立余目第四小学校
教諭 松田 妙子

も

う半世紀も前になりますが、義父が和合中学校の教員としてお世話になったそうです。生前、よく和合中での思い出や地域の温かさのことを懐かしそうに語っておいりました。

十年ほど前には夫が、そして私もと、ご縁をいただきとてもうれしく思っております。

四小に赴任して四年目となりました。「あつ、今日、読み聞かせだ!」「先生、きのうわ

ごうの広場でね」楽しみなこと、楽しかったことを目を輝かせて伝えてくれる子どもたち。

生活科の学習では「古関にはね」「西袋にもね」と自分の住む地域の紹介合戦が始まります。

地域が大好きで地域の皆様に育まれながら伸び伸びと育っていることを感じます。

昨年、春は小出沼で桜を見、夏はトルコギキョウの摘み取りを体験し、秋には前田野目で

地域の方々とグラウンドゴルフをしようと、公私共々「和合の里」を楽しませていただきました。

た。これからも和合の魅力を子どもたちと共にたくさん見つけていきたいと思っています。



余目第四幼稚園



よつばこ通信



新緑の緑が鮮やかな季節、天気の良い日には外遊びを喜んでいる子ども達。砂場で川や温泉を作ったり、草花を使ってジュースを作ったりしています。発見したこと、面白いと心躍ったことを近くにいる友達に伝えたいという実体験が意欲に繋がっています。



水の量や流す場所を相談中



気持ちいいねえ～



「水は欲しいですか～？」
「ちょっとだけください」かかわりが広がっています



お花をつぶしてジュースを作りながら色の变化に気付いています。



バスに乗って鶴岡市西部公園に行ってきました。いろいろな遊具に挑戦し心も体も鍛えてきました。



「おはしも」の約束も確認。

お⇒押さない は⇒走らない し⇒しゃべらない も⇒戻らない・(何も)持たない



避難訓練は月一回行っています。有事の際には自分で身を守ることを園生活でも意識しています。

事件、事故のない和合の里を くらしの安全情報

環境防災課
危機管理係
係長 廣田 大輔



災害時に命を守るのは一人ひとりの防災対策です!

○災害発生が増加・大規模化

国内で平成23年から令和2年までの10年間に1回も水害、土砂災害が発生しなかった市町村は、全市町村1,741のうちわずか41市町村となっています。気温上昇に起因する豪雨など気候変動により、今後さらに災害の発生増加や大規模化が懸念されています。

○令和6年7月の大雨災害

皆さんの記憶にも新しいかと思いますが、令和6年7月25日からの大雨災害は、町内にも甚大な被害を残しました。第一学区、狩川地区、清川地区では避難所を開設し、最大74名の方が避難所に避難しております。昭和46年7月に発生した大雨災害と同規模の雨量でしたが、今回の災害では幸いにも死傷者はありませんでした。



○防災の基本は「自助」

災害が発生した場合、行政は一人ひとりを助けには行けません。自分の命は自分で守る「自助」が基本となります。起きうる災害の種類や規模を理解し、食料や日用品など必要なものをまとめた「非常用持ち出し袋」の準備、家具の固定による自宅内の安全確保などの備えをお願いします。



非常用持ち出し袋
(NHK防災)

また、地域の防災訓練に参加し、避難場所や避難経路の確認、ご近所の助け合いなどにより安全に避難できるようにしましょう。

○防災情報の収集・活用

大雨による水害、土砂災害は天気予報などを活用することで発生前に災害の備えができます。地域の防災情報を確認できる気象庁のホームページがありますのでご活用ください。



庄内町の
防災情報
(気象庁)

また、町公式LINEでも、防災情報を発信しています。



庄内町
公式LINE
アカウント

このほか、様々な防災アプリがありますので、情報の収集・確認にお役立てください。



NHKニュース
防災アプリ



YAHOO!
防災速報アプリ



○町の取り組み

町では、防災マップや地震ハザードマップを各戸に配布しています。想定される被害規模に加えて避難所一覧、避難する際の行動や留意点なども記載していますので必ずご一読ください。

また、防災に関する研修会を開催しているほか、まちづくりセンターや自治会等への出前講座を行っていますので、積極的にご参加いただき、日ごろの備えにお役立てください。

このほか、パーテーションや簡易ベッド、簡易トイレの調達など、避難所の環境改善に向けて備蓄品等の整備を行っています。避難所は避難された地域の方で自主的に運営していただくことになりますので、防災訓練の際に使用方法などを確認してみたいでしょうか。

和合の里 掲 示 板

■和合歴史民俗塾の日程

第2回 7月10日(木)【講義】雪・月・花の能「松山能」

【講師】松諷社会長 榎本和介氏

松山藩主、酒井忠恒の時代に始まった松山能について学びます。

第3回 8月29日(金)【現地学習】最上義光歴史館(山形市)

山形藩主、最上義光にまつわる収蔵資料を見学します。



■第7回和合の里フォトコンテスト 作品募集中!



和合の里の歴史や文化風景など「魅力」を映し出す一枚を募集します。令和6年10月以降に撮影した作品が対象です。ぜひご応募ください。

応募期間: 9月1日(月)~9月30日(火)

応募作品展: 10月18日(土)~11月30日(日)

詳細は和合の里を創る会事務局またはホームページにてご確認ください。

■小学校、幼稚園の夏休み期間

☆余目第四小学校

7月26日(土)~

8月21日(木)まで

☆余目第四幼稚園

7月26日(土)~

8月21日(木)まで

■亀ノ尾の里資料館第111回企画展 「庄内の稲作、水稻品種に関する展示」

庄内の稲作にまつわる歴史をご覧ください。

開催期間: 令和7年7月26日(土)
~9月30日(火)

休館日: 9月11日(木)

開館時間: 9:00~17:00
(最終入館16:30)



■和合大学院「悠遊塾」の日程

7月2日(水) 講演: 毎日を楽しむ生きる工夫

7月16日(水) 講義: 夏バテを予防する食事と生活習慣

8月20日(水) 講義: エンディングノートの作り方

■放課後子ども教室「わごうの広場」の日程

7月9日(水)、7月23日(水) 開催

8月6日(水) は夏祭りを開催します。

☆「悠遊塾」塾生、「わごうの広場」
サポーターの申込み受け付け中です。

■和合の里 8 月の例祭スケジュール

日 付	場 所	時 間
8月13日(水)	西袋皇大神社	9:00 行列出発(公民館)、10:00 神事
8月14日(木)	連枝巖島神社	10:00 神事
8月14日(木)	前田野目皇大神社	11:00 神事、午後 子ども神輿(旧余目診療所から神社)、 夜 夏祭り(公民館)
8月14日(木)	福島皇大神社	16:00 神事
8月15日(金)	古関白山神社	12:00 行列出発(公民館)のち神社にて神事
8月15日(金)	南興屋八幡神社	時間未定
8月16日(土)	廻館皇大神社	12:30 神事
8月16日(土)	堤新田皇大神社	時間未定
8月16日(土)	大真木皇大神社	11:00 神事
8月16日(土)	京島皇大神社	11:30 神事
8月17日(日)	南野皇大神社	12:00 行列出発(公民館)、13:00 神事
8月18日(月)	沢新田建部神社	8:30 子ども神輿全戸巡回、11:00 神事



2025.7.1 発行

編集発行 和合の里を創る会

TEL 0234-44-2162 FAX 0234-44-2169

こちらのQRコードからパソコンやスマートフォンで地域情報誌「和合」を読むことができます。



印刷 / 富士印刷株